



『僕の学校』

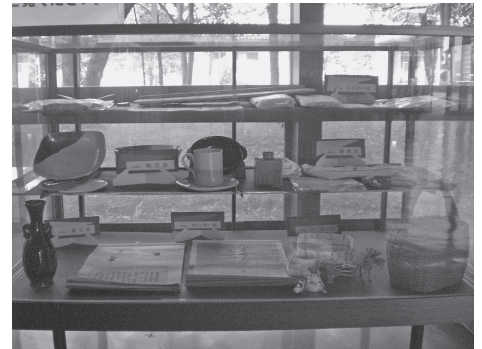
小諸養護学校

高等部三年B組 土屋 雄人



ほくのかよう小諸ようご学校には、七つの作ぎようはんがあります。木工はん、とうげいはん、のうこうはん、ほうせいはん、かごあみはん、ふれあいはん、カレンダーはんです。

ほくは、カレンダーはんで作ぎようをしています。作ぎようのないようは、一年間の



カレンダーを作っています。ひようしは、ももの木をちぎりにえにして作っています。十二かげつぶんのカレンダーを皆でいっしょうけんめいつくっています。

そのほかに、ほうせいはんでは、トートバッグやはぶらしコップ入れ、ぞうきんなどを、かごあみはんでは、マスコットやバッグを、とうげいはんでは、お皿やカップやおちゃわんなどを、木工はんでは、たな、ベンチなどを、ふれあいはんでは、入よくざいなどを作っています。作ぎようで作ったせい品は十月八日土よう日にある小諸ようご学



校のおまつりの小よう祭と二月十日金よう日にあるイオンはんばい会ではんばいするよていです。

ぜひはんばい会にきて、たくさんかつてください。まっています。

それから小諸ようご学校の高とう部では、生と会活どうもおこなっています。代ひょういいん会、せいびいいん会、体育いいん会、ほけんきゅうしよくいいん会、ニュースいいん会、リサイクルいいん会では、インクカートリッジやベルマーク、アルミカンをあつめてリサイクル活どうをしています。

第十七回 虚子・こもろ全国俳句大会

四月二十九日(金・祝)、ステラホールを主会場として開催されました。午前八時半、当日句会の席題「田螺」と「小諸市内囀目吟(小諸市内のことを詠んだ句)」が発表され、大会がはじまりました。

午前は当日句会の作句を行い、午後一時からは、本大会の選者でもある俳句結社「炎環」主宰 石寒大先生によって、「楸郎から見た虚子俳句」と題した講演が行われました。

同じく午後の表彰式では、一般の部より十名、小学生・高校生部の部より四名、学校賞より二校の代表者が列席し、表彰状や句を刻んだ盾が贈呈。続いて、特別選者による「田螺」の表彰、互選による「囀目吟」の表彰が行われました。

与良、荒町、本町、相生町、大手の各区では入選句の短冊や歓迎の幟旗が多数掲げられ、「与良館」と「ほんまち町屋館」では参加者の歓迎イベントも催されました。

— 入選作品(市内受賞者分) —

一般の部

● 小諸市議会議長賞

虚子庵の甕臥せてある冬構

塩川 正

小学生の部

● 特選

顔あつくまゆ玉やくぞどんぢやき

野岸小学校

大西 慶吾

春風が小諸の町をふきぬける

野岸小学校

土屋 光

※学校名は応募時のものです。